

全国中学校柔道大会

試合結果処理システムのコンセプト



このシステムは、円滑で効率的な大会運営のために、データ処理を一元化かつ自動化するために開発されたものです。

各試合会場でおこなわれた試合結果を簡単な操作で入力。このデータが様々な形に変換され、多目的に利用されます。

- 記録係としてデータが蓄積。
- 本部や審判係でデータ利用。
- インターネットに見やすい形に自動変換して即時公開。
- 進行中の試合状況をリアルタイムで表示。
- 放送原稿のひな形を用意しておいて、自動で穴埋めされたものが放送系のパソコンに届きます。
- 会場の大型スクリーンに試合結果だけでなく、現在進行している試合の情報を映し出します。

全国中学校柔道大会
試合結果処理システム

【入力画面】
男子 -50kg級 一回戦 [3]

男子団体
-50kg級
-55kg級
-60kg級
-66kg級
-73kg級
-81kg級
-90kg級
+90kg級

女子団体
-40kg級
-44kg級
-48kg級
-52kg級
-57kg級
-63kg級

選手名 前山 昌哉(枕崎立神) 対 鈴木 春

判定
○●一本勝ち
○●優勢勝ち(指導1)
○●優勢勝ち(指導2)
○●優勢勝ち(指導3)
○●僅差勝ち
○欠員(表示されない)

【なし】 ○足車
○一本背負投 ○内股 ○内股透かし ○移腰 ○裏投 ○大内返
○大内刈 ○大腰 ○大外落 ○大外返 ○大外刈 ○送足払
○帯取返 ○肩車 ○小内返 ○小内刈 ○腰車 ○小外掛
○小外刈 ○支釣込足 ○胸投 ○隅落 ○隅返 ○背負投
○袖釣込腰 ○外巻込 ○体落 ○谷落 ○燕返 ○釣込腰
○出足払 ○巴投 ○跳腰 ○払腰 ○払腰返 ○払釣込足
○払巻込 ○膝車 ○横車 ○浮固 ○後袈裟固 ○送襟絞
○肩固 ○片羽絞 ○上四方固 ○崩上四方固 ○崩袈裟固 ○袈裟固

このシステムは、2003年の札幌でおこなわれた全国大会のために開発され、実際に使用されたものです。当時は有線でつないだネット環境を会場内に構築しました。

時代は代わり、ネット上のサーバーで自動化の作業をさせることができるようになりました。システムは、クラウド上にあり、同様のことが簡単に可能となりました。

勝ち上がりの処理も何もかも全自動。画面を開けば、勝ち上がった選手が埋まった状態で、判定と決まり技などを入力するだけです。

システムは、ネット上にあります。今後も選手データを入れ替えれば、いつでも動かすことができます。もちろん今回のものはアーカイブ化して保存しておくこともできます。ネットに公開する部分とデータ入力の画面は完全に別で、改ざんなどの心配ありません。